

所 属	都市建築部水道企業課		
担当(係)名	県営水道担当	内線	2495

## 県営水道におけるバックアップ管の整備

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
1,800 (前年度 14,000)	内部留保金 1,800	委託費 1,800 (基本設計)

### 2 背景・現状

県営水道の送水管は、供用開始から34年経過（法定耐用年数40年）し、管路の老朽化が進行して、漏水事故が79件発生し、今後更に漏水の危険度が高まってくる。しかし、管路の更新を進めるには、現在の管路は単線であるため、断水を避けて実施することが困難である。

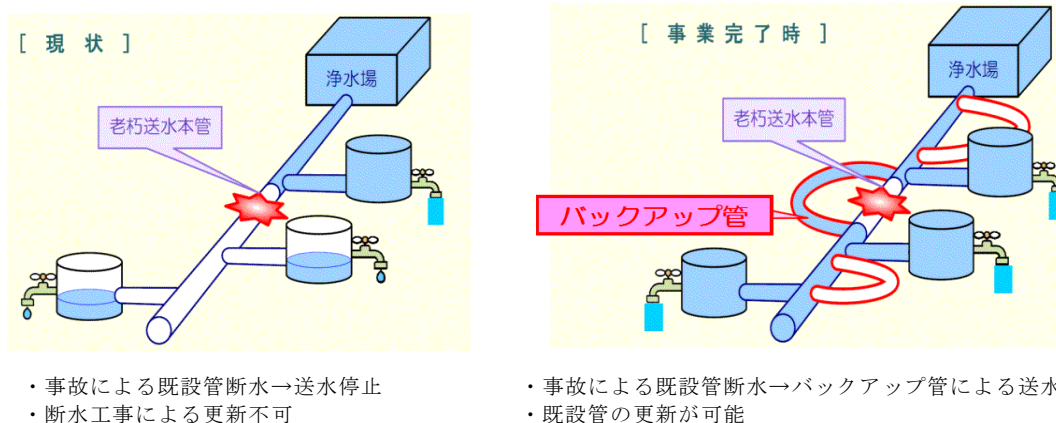
### 3 事業目的

バックアップ管を整備することにより、管路の更新時または地震、漏水事故時などにおいて、可能な限り断水被害を回避し水道水の安定供給体制を確立する。

### 4 事業概要

県営水道の老朽管路（東濃・可茂地域150km）のバックアップ化と耐震化を優先度の高い管路から順次整備する。

<第1期事業>	事業期間	平成23～34年度 (基本設計 平成23～24年度)
	施工延長	50km
	事業費	117億円



水道事業会計

バックアップ管整備事業